

プロモーション5・FDCトレンドファブリック収蔵展

「流行やトレンドは繰り返す」と言われます。FDCは開館以来20年、テキスタイルの発信を続け、膨大なトレンド資料を蓄積しております。これをトレンドに合わせて展示するもので、例えば平成15年12月には収蔵してある素材の中から復活が予想される91/92秋冬物、92/93秋冬物を津島市で展示しました。この収蔵展は産地のテキスタイルメーカーはもちろんアパレルや生地コンバーターからも好評を博しております。



収蔵展

プロモーション6・尾州ブランド研究会

FDCは平成15年8月、尾州ブランド研究会を立ち上げました。これは「産地のテキスタイル生産者の思いを消費者や顧客の共感に」、「その手法としての産地ブランドの構築を」という産地の強い声を背景にしたもので、日本毛織物等工業組合連合会（毛工連）や一宮市など行政と連動して進めています。「地域としての存在感を継続して打ち出していく」との思いはFDCのみならず、

業界、行政も同様です。

その道の権威者・名古屋工業大学の加藤雄一郎助教授をコーディネーターに迎え、平成16年度の立上げを目指して、研究を進めています。

FDCは産地ブランドが構築された後、国内はもとより、海外に向けても「尾州」を発信する計画です。

地場産品発掘・地域交流事業

1、APPERL（アピール）スキーム

地場産品発掘事業 24市町村コーナー 地場産品の即売

FDCは、対象エリアである尾張西部24市町村の地場産業、地場産品の調査事業を行い、地域で特徴のある産業・地場産品を広く紹介し、その成果を基に地域活性化を目指した事業を行います。例えば、七宝焼き製品とファッションビジネスとの融合など、地域内で可能なトータルファッション化を推進します。

また開館20周年を契機に、FDC1階常設展示場に市町村コーナーを整備・拡充し、より多くの地場産品を展示、地域情報の発信により、地場産業センターの機能充実を図ります。

さらに繊維製品を始め、地域の地場製品の販売に取り組みます。

2、AMUSE（楽しむ）スキーム

手描き染教室	布に絵を描き染めます
手織教室	実際に手織りを体験します
おやこふれあい教室	布を使っの工作や繊維について勉強をします

FDCは繊維産業の発展はもとより、地域文化の向上を目指して、上記の事業を実施しています。FDCに出捐している24市町村から、広く受講者を募集しています。また各自治体への講師の派遣につきましても対応します。



手描き染教室



手織教室



おやこふれあい教室